

いんざい里山マップ

北東部版

～水と緑豊かな里山のんびりコース～

みどころ 竜伝説

竜伝説がある。干ばつで苦しむ農民の姿を見かねた印旛沼の小竜は、竜王の許しを得ず雨を降らせたため、身を3つに引き裂かれた。腹部が落ちた寺を、村人は龍腹寺と呼ぶようになった。市内には他にも龍湖寺、龍淵寺、瀧水寺、龍泉寺（跡）と

竜（龍）の名のつく寺がある。また、宝珠院観音堂（光堂）に竜の尾があり、持ち主の日光東照宮の竜が会いに来る、という民話もある。竜は市内の池や公園の案内図、彫刻などに使われ、顔は怖い、市民に愛されている。



竜のオブジェ
(西の原公園)



キンラン

地域の特徴

北は将監川（しょうげんがわ）、東は利根川に続く長門川と北印旛沼に接している。中央部には印旛沼流域最大級の湧水地を抱える物木落（ものきおとし）が西から東に流れる。本楚のハクチョウ飛来地から見ると、先が霞むほど広大な水田が広がり印旛沼の干拓地であることがよくわかる。この地域には獅子舞や神楽といった無形文化財が引き継がれており、歴史を感じる里山である。南は台地上に林が続き集落が点在しており、由緒ある古い寺や神社がいくつもあ

市内の里山で見られる 寺社文化財

市内には、松虫寺（745年創建）や泉倉寺（807年創建）等、由緒のある寺院や神社が多数ある。古い昔には印旛沼や手賀沼は、広い内海である「香取の海」の一部だった。これらの寺院等は、最盛期には「香取の海」を通して遠い都とも交流があった。

印旛沼の北側には宗像（むなかた）神社が13社（市内に12社）、そして、その北部には鳥見（とりみ・とみ）神社が21社（市内に11社）ある。これらは、それぞれが比較的狭い範囲に収まっており、全国的にみても珍しい分布をしている。また、鳥見神社の中には神楽（かぐら）や獅子舞を今に伝えるところがあり、五穀豊穡や子孫繁栄を祈って毎年奉納されている。

市内にある指定文化財には以下のようなものがある。

- 国指定 6
結縁寺銅造不動明王立像、宝珠院観音堂、泉福寺薬師堂、松虫寺七仏薬師像、栄福寺薬師堂、木下貝層
- 県指定 18
神楽、獅子舞、水塚（みづか）等
- 市指定 26
獅子舞、史跡 等



千年前の千葉県北部とその周辺
(吉田東伍『利根治水論考』より)

B-1 小林・物木地区



ヨケリンドウ

B-2 中根地区



B-3 安食ト杭・酒直ト杭地区



本楚の水田風景

古老の語

- 白鳥が初めてやってきた時は、たった6羽だけだったよ。(本楚白鳥の郷)
- 昔は枝いっぱい長さ30cmにも及ぶ花が房になって咲き乱れたんだが、今はほんの少し咲くだけだよ。(樹齢約1,000年の中根藤方の藤の木)
- 枝ぶりが良くTVドラマに出て有名になったんだが、大風で倒れてしまったよ。(中根の大榎)



キアゲハ



印旛沼

- 史跡名所
- 湧水
- トイレ
- コンビニ
- ビューポイント
- 里山穴場スポット
- 参考ルート
- 散策ルート
- 横断注意
- 水田
- 斜面林緑地
- 公共機関

何の写真かわかるかな？答えはウラを見てね！

